

学校経営推進費 評価報告書（2年目）

欄記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のプレゼンテーションスキルの向上（教員による要素別評価、10点満点） ・教員の授業変革（創意工夫）による、生徒の授業満足度の向上（授業アンケート等にて測定） ・連携による、企業（組合）の満足度の向上（企業へのアンケート、求人数、就職率等にて測定）
計画名	「ものづくり現場のリーダー素養」育成プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>A 中核教育活動施策 (1) 分かる授業、充実した授業の推進 専門系や教科の枠組を超えたフィードバックの場を形成する取組みを通じで授業力向上を図り、クラス内の多様な生徒個々の学力差に応じて指導の改善を図る。 C アウトプット対象対策 (5) 地元企業との連携の充実 工科高校重点化の取組として、ものづくり企業が集積している東大阪・八尾地域を中心に一層の企業連携を図り、出前授業やインターンシップを活用したキャリア教育・職業教育の充実を図る。</p>
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・工業・工科高校である本校生徒は、ものづくりにおける作業技能の向上には着実な成果が見られるが、企業において今後強く期待されるのは、そのものづくりのノウハウや素晴らしいさを上手に伝え、相手の行動が促される表現力である。さらに日本のものづくりの強さの源泉はチーム力であり、その鍵はチームメンバーの知見や経験を活かした改善であり、そのためにも要点をまとめ効果的に伝える力が重要である。 ・本校ではこのような企業ニーズに合致した人材の卵を輩出すべく、①クラスにおいて生徒のグループワークでの意見を集約する力と伝える力の練磨 ②ラーズ・プレゼンテーションルームにおいて、3系それぞれが他の系の生徒に対して行うクロス・プレゼンテーションで気づきの誘発と相互フィードバック ③さらに、聴衆をPTA、中学、地域にまで拡大して、自らのプレゼンテーションがどのようなアクションを生むかによつてのフレッシュアップ等でのものづくり現場のリーダー素養を育成する。 ・一方、企業（組合）から来校いただき行われる出前授業や講演会を積極的に誘致し、生徒にとって様々な職種の業務体験を可能として、就職可能性を拡大する。と同時に、その様子を動画に収録し動画投稿サイトで発信することにより、企業組合からすれば社会貢献としてとらえられ、Win-Winの関係強化となり企業連携が加速することが見込まれる。その結果、本校生徒へのインターンシップや求人数増加に結びつくことが期待される。 ・そして何よりもグループワークに関する校内研修や研究協議を行える環境の形成は、教員同士の活発な意見交換や実践が授業変革・改善につながり、それが教員自身の高い肯定感となって、生徒に還元される。
整備した 設備・物品	会議室：プロジェクター・電動スクリーン・液晶テレビ（2台）・音響関連・AV制御システム 教室（16クラス）：液晶プロジェクター（16クラス）・接続コンセントボックス
取組みの 主担・実施者	首席
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ☆H28年度の大きな成果は、本事業において導入した設備を用いた生徒・企業のプレゼンテーションの回数やプロジェクターを用いた授業の回数等、量的な数字が飛躍的に拡大した。 ☆16教室でのプロジェクターの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初より視覚教材を用いた授業が活発に行われるようになった。 ・3年生が2年生に対して、インターンシップ説明会を実施（5月）。各教室のプロジェクターを用いて生徒から生徒への説明会が実現した。（8教室） ・就職を直前に、企業によるマナー講座等を各教室で実施した（5回）。 ☆プレゼンテーションルーム（会議室）の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・企業（組合）からの出前授業は、電気工事組合（H28年1月）・シーリング工事組合（年4回実施）が実施。 ・学校説明会（11月）や課題研究発表会（1月）、生徒会活動報告会（2月）で生徒がプレゼンテーションを行う機会が増加。特に生徒による学校説明会を本校で初めて開催。学校説明・受付・案内等すべて生徒が行い、来場した中学生・保護者の満足度はほぼ100%であった。 ☆教員研修 <ul style="list-style-type: none"> ・GWP（授業力向上プロジェクト）のコアチームにより現状の課題を拾い上げ、プロジェクトの方向性を決定する。 ・授業力向上プロジェクトの中でグループワークやロールプレイを用いた研修を行った。
成果の検証方法 と評価指標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒アンケート：出前授業・キャリア講演会の効果で対前年比5%改善 (2) 教員による生徒のプレゼンテーションスキル評価：5点（10点満点） (3) 本校教員で、年5回以上プロジェクターを用いた授業の実施割合：50% (4) グループワークを用いた授業展開：30% (5) 出前授業の実施回数：7回・講演会の実施回数：5回、及びその際の企業（組合）満足度：3.75以上（5点満点） (6) 就職率：100% (7) 求人数：対前年比5%増
自己評価	<p>※（記号説明）大きく上回った（◎）、上回った（○）、達成できず（△）、実施できず（×）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒アンケート：出前授業・キャリア講演会の効果で対前年比7.25%向上（目標5%改善）（◎） <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断の生徒による回答で「あてはまる」と答えた割合 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「学校は就職・進学に関する情報を十分に知らせてくれている」：74%（前年度69%） 7.0%増 2. 「学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている」：71%（前年度66%） 7.5%増 (2) 教員による生徒のプレゼンテーションスキル評価：6点（目標10点満点において2年目5点に到達）（○） <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、生徒の発表機会として「大阪府産業教育フェア」「学校説明会」「インターンシップ説明会」「課題研究発表会」 ・本事業の設備を用いて、生徒がプレゼンテーションした発表した回数（15回）内訳：教室（8回）／プレゼンテーションルーム（7回） (3) 本校教員で、年5回以上プロジェクターを用いた授業の実施割合：21人（全教員の23%）（目標：50%）（△） <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを使用した授業の回数449回（前年度：67回）。本校教員の約50%が視覚教材を活用した授業を実施した (4) グループワークを用いた授業展開：20%（目標30%）（△） <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを使用した授業の回数449回（前年度：67回）。 ・本校教員の約50%が視覚教材を活用した授業を実施した ・学校教育自己診断の生徒による回答で「あてはまる」と答えた割合 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「授業は良く分かる」：53%（前年度46%） 2. 「先生は教え方に様々な工夫をしている」：57%（前年度54%） (5) 出前授業の実施回数：7回・講演会の実施回数：5回、及びその際の企業（組合）満足度：4.5（目標：3.75以上）（◎） <ul style="list-style-type: none"> ・企業（組合）からの出前授業・講座の回数（12回）（前年度2回）（◎） 専門系への出前授業（6回）／その他進路に関する講座（6回） (6) 就職率：100%（◎） (7) 求人数：556（前年比11%増）（◎）
次年度に向けて	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員による生徒のプレゼンテーションスキル評価を実施し、プレゼンテーションの質の向上をめざす。 ・プレゼンテーションの機会：課題研究発表会（優秀者には次の機会を設ける） ・出前授業・インターンシップ発表会【2年生】・外部で実施するプレゼンテーションでの発表に参加する。 ・就職試験をする際の面接試験で、グループワークを用いる企業も増えてきているため、上記の機会はそのような場面で力を発揮する為の準備であり、生徒の進路実現に大きくつながるものである。 <p><教員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを用いた視覚教材の共通化を行い、授業力向上プロジェクト（GWP）からグループワークを用いた授業を発信し、一般化していく。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業による本校のプレゼンテーションルームや教室のプロジェクターを用いた出前授業・講演会の実施を継続する。今年度の実績を踏まえ、生徒にも企業にも満足度の高い機会であるので、継続して実施していけるように計画する。